

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市軽費老人ホームきずな苑			所管課	高齢者支援課
所在地	周南市速玉町3番16号				☎ 22-8461
設置年月日	昭和57年9月1日				
設置目的	60歳以上(夫婦で入所する場合は、いずれかが60歳以上)の高齢者であって、家庭環境住宅事情等の理由により、居宅において生活することが困難な者が、低額な料金で利用し、健康で明るい生活を送ることを目的とする。				
施設概要	・敷地面積・・・4,081.49㎡ ・総床面積・・・鉄筋コンクリート2階建 2230.18㎡ ・定員・・・50人(個室40室、夫婦5室) ・入所対象・・・60歳以上の健康で身のまわりのことが自分ででき、毎月の利用者負担金を納めることができる方。				
指定管理者	名称	社会福祉法人周南市社会福祉事業団			
	代表者	理事長 岩崎 哲司			
	所在地	山口県周南市瀬戸見町12番30号			
	連絡先	電話	0834-34-8881	E-mail	jimukyoku@shunan-jigyodan.jp
		ホームページアドレス	https://www.shunan-jigyodan.jp/		
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日			年数	3年間
募集方法	非公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	・きずな苑の維持管理に関する業務 ・きずな苑の運営に関する業務 ・きずな苑の入居の許可に関する業務				

2. 施設の運営状況

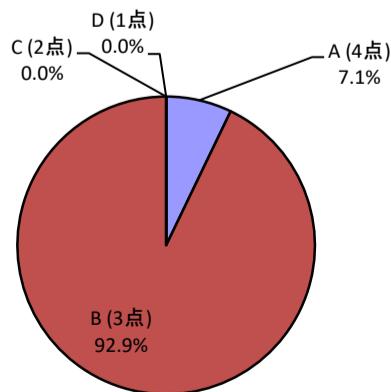
目標管理	目標指標名		年度		R4年度	R5年度	
	平均入居者数		目標値		46	35	
				実績値		—	
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	単位	利用実績	単位	稼働率(%)
	平均入居者(令和4年度)		46	人	32.3	人	—
	平均入居者(令和3年度)		46	人	31.8	人	—
	平均入居者(令和2年度)		43	人	39.7	人	—
指定管理業務に係る収支状況 ※指定管理料の実績額には、昨年度発生した急激な燃料費高騰に対する市のリスク負担分として増額支払をした1,079,952円が含まれます	項目		収支計画額(円)		実績額(円)		
	収入	指定管理料	73,271,000		74,350,952		
		利用料金収入	19,278,000		21,632,371		
		その他の収入	29,000		19,882		
		計	92,578,000		96,003,205		
	支出	人件費	48,126,000		48,420,034		
		物件費	28,866,000		30,296,540		
		委託料	15,006,000		15,005,384		
		その他	580,000		342,779		
		計	92,578,000		94,064,737		
参考	使用料収入						
	自主事業収入						
	自主事業経費						

令和5年度(令和4年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名		周南市軽費老人ホームきずな苑		
指定管理者名		社会福祉法人周南市社会福祉事業団		
項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価	
全体	目標の達成状況	目標の達成には至らなかった。しかし、前年度と比較して入居者数は増加している。病院やケアマネージャー等に入居の宣伝を行ったことや、市広報への掲載について反響が大きかった。	B	
組織	体制・人事	職員配置体制と業務内容は適切であり、職員に対して外部研修と内部研修が実施されている。	B	
業務	業務の運営	相談業務は入居者の状態に合わせて適切に実施しており、介護サービスへの移行、他の施設への入所や入院の支援も行っている。また、入居者だけではなく、入居者の家族に対しても情報提供を行い、対応している。	B	
	施設の稼働状況	前年度に比べて、入居者数は増加している。今後もPR活動を積極的に実施することで施設の周知に努め、入居者の増加につなげていきたい。	B	
	施設の維持管理(清掃等)	定期的な清掃や消毒を徹底しており、清潔に保たれている。食堂にパーテーションを設置するなどの感染症対策も適切に行っており、入居者が安心して過ごすことができる環境づくりに努めている。	B	
	施設の維持管理(点検・修繕等)	全体的に施設は老朽化しているが、必要な定期点検や修繕は適宜実施している。	B	
	緊急時の対応方法	適切な保険に加入している。救急時対応マニュアルと連絡体制も作成している。災害や事故防止のため入居者と一緒避難訓練を実施している。	B	
工夫	サービス向上及び経営改善に関する取り組み	高齢者施設ということもあり新型コロナウイルス感染症対策は引き続き徹底している。コロナ禍以前のように入居者全員で外出する等はできないが、入居者の楽しみの1つになるように、納涼会の開催や少人数での外出の再開を検討している。	A	
広報	PR・情報提供の実施状況	ホームページを作成している。月に1回広報誌も作成し情報提供を行っている。また、病院やケアマネージャー等に施設の宣伝をしたり、市広報に掲載する等積極的にPRを行っている。	B	
相談・連携	苦情処理の状況	苦情への対応は職員で適切に対応できている。	B	
	情報共有	市への報告については適宜適切に行われており、常に情報共有を行う認識を持っている。	B	
モニタリング	指定管理経費の経理事務の状況	経理会計は適切に行われている。	B	
	利用者満足度調査における施設満足度	多くの項目で「非常に満足」「おおむね満足」が占める割合が高い。しかし施設の行事について不満の声があがっており、新型コロナウイルス感染症対策のため、以前行っていた行事を開催できないことが不満の要因となっていると分析している。	B	
	書類の作成・提出	市から依頼する調査等についても、迅速に提出されている。月次報告や年次報告等についても必ず期限内に提出されており、必要な内容も備えている。	B	
評価コメント	前年度に比べて入居者数は微増している。新型コロナウイルス感染症対策として、行事の自粛が続いていることに不満の声もあがっているが、入居者の身体的な状態に考慮したサービス提供を行っているため施設全体の満足度は高い。さらに施設内での活動を工夫するなど入居者が楽しめる空間づくりに取り組んでおり、入居者のサービスの向上に努めている。引き続き各機関へのPR活動を行い、利用者数の増加に努められたい。		総合評価	B
			平均点	3.1

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

